

年12月、家を長男に譲り隠居となり、名を勘解由と改めた。1795（寛政7）年5月、江戸深川黒江町に移り、高橋作左衛門至時の門弟となり暦学を学び始めた。

1800（寛政12）年から1816（文化13）年までの17年間にわたり北海道から九州までの測量を行っている。忠敬の記念すべき北海道根室半島付近までの第1回測量の測量日記には、その初日となる1800（寛政12）年閏4月19日に深川を出生し、千住より草加宿へ2里8丁、草加より越谷へ1里28丁、越谷大沢宿で宿泊と記されている。

さらに、その半年後の測量の帰路には、「十月二十日、草加へ八つ頃着、夜大曇、深夜雨、測量（天文）不可」と宿泊の様子が記載されている。第1回の測量で、師の高橋至時に子午線は27里余と報告。翌1801（享和元）年、伊豆から東北にかけての第2回測量で子午線を28.2里と確定した。忠敬はこの第2回測量と1802（享和2）年の第3回測量のいずれも、その帰路に草加宿に宿泊したことを測量日記に記している。  
〈通史編LP652～・資料編IVP594～〉

**いほ地藏**  
青柳五丁目の個人墓地に祀られている地藏堂の本尊。旧家の言い伝えによれば、この地藏は、その昔、僧侶が来て「この地に地藏菩薩を祀らせてほしい」と置いていったものだという。これがいつから「いほ地藏」の名で呼ばれるようになったかは不明であるが、この地藏に供えられた線香の灰や地藏の前に置いてある小石を借りてきて、それで体にできたいほをこすると、いほが取れるといわれている。いほが取れた時のお礼として小石を2倍にして返すという。  
市内には「いほ地藏」



**いち ほしほうすいろ 一の橋放水路**

市北西部の新栄町から長栄町を流れる延長700mの水路で、伝右川と綾瀬川をつないでいる。伝右川の氾濫防止を目的として、1928（昭和3）年ごろ地元の人々により、新兵衛新田（新栄町）の伝右川から長右衛門新田（長栄町）まで掘削された。その後、1981（昭和56）年から1983（昭和58）年にかけて埼玉県が一部改修を行った。

〈自然・考古編P281〉  
■綾瀬川 新栄町 長栄町 伝右川

**いっばんこくどう 4号 一般国道4号**

国内で一番長い国道で、市の西部を南北に縦断する。総延長は、東京都中央区日本橋から青森市に至る868km。市内分は6.24km、上下線とも2車線の幅員21m。旧国道4号（県道足立越谷線）の渋滞解消のために、1967（昭和42）年4月1日に下り2車線が開通。1967（昭和42）年12月26日に上り線が開通し、1964（昭和39）年から総事業費約50億円をかけ、足立区保木間町を起点に越谷市下間久里で4号国道と合流する延長15.2kmが、バイパスとして全面開通した。  
〈昭和43年1月10日号・昭和43年4月10日号〉  
■県道足立越谷線

**い**

**いたび 板碑**

鎌倉時代から室町時代に全国で建立された石造供養塔で、板石卒塔婆、板石塔婆、青石塔婆とも呼ばれる。板状の石材に梵字（種字）や供養内容などを刻んである。造立の目的は主に死者の供養と生前の供養（逆修）で、施主は遺族、本人、村人の寄り合いなど。石材はいろいろだが、武蔵地方では秩父地方産の緑泥片岩が多く用いられる。板碑の造立は鎌倉時代に関東で始まり、やがて全国に普及していった。

市内には2008（平成20）年8月1日現在、破片も含め50基あり、中川、古綾瀬川、毛長川流域の微高地の旧村に多く見られる。うち、市指定文化財に認定されているものは5基（十三仏板碑、題目板碑、弘安六年弥陀一尊板碑、享禄五年弥陀一尊图像庚申待板碑、文明十七年弥陀一尊图像月待板碑）。  
〈草加市の指定文化財〉  
■指定文化財



減少や抑止に努める町会・自治会などの自主防犯活動の拠点であることとを主とするのに対し、安全安心ステーションは防災活動の拠点も併せ持つ。

〈平成17年8月20日号〉  
【所在地】吉町1-1-41  
【電話】922-0426  
■パトロールステーション

**あんぜん あんしん 安全安心マップ**

市内で1年の間に発生した、子どもを狙った不審者情報と主な街頭での犯罪の発生状況を掲載したマップ。不審者事案の種別や、ひったくり・路上強盗などの発生箇所、侵入窃盗の丁丁別の発生状況を掲載している。地域住民の防犯意識の啓発を目的としたマップ。2003（平成15）年度の犯罪発生場所をまとめ、2004（平成16）年度に初めて作成。それ以降、毎年3月に市で発行している。

**あんようし 安陽市**

本市と1998（平成10）年11月に友好都市提携を結んだ中国の都市。中国河南省北部の、山西省、河北省、山東省が境を接するエリアに位置する。市と安陽市は1985（昭和60）年から、草加市日中友好協会を中心に市民レベルでの交流が行われ、市民使節団の訪問、安陽市代表団の受け入れ、青少年の絵画や書の交換などを行ってきた。2005（平成17）年1月18日には、安陽市人民政府代表団5人が来草し、草加市議会や市立病院、草加商工会議所などを訪問した。  
安陽市は中国七大大古都の1つで、黄河の北側に位置し3000年の歴史を持つ文化都市。面積7413km<sup>2</sup>、人口525万人。紀元前14世紀の遺跡「殷墟」は、漢字の起源といわれる甲骨文字が出土した場所として知られ、ユネスコにより世界文化遺産にも登録されている。  
〈平成10年11月20日号・平成17年2月5日号〉  
■国際交流協会

パトロール活動や子どもの見守り活動をレベルアップする短期集中講座。防犯パトロールに役立つ知識を修得し、安全安心なまちづくりを推進する人材育成を目的としている。受講生を中心に日本ガーディアン・エンジェルス草加支部が設立されるなど大きな成果を生んでいる。  
〈平成17年10月20日号〉  
■日本ガーディアン・エンジェルス草加支部

**あんぜん あんしん しょうほうきょうゆう 安全安心情報共有システム**

2007（平成19）年9月から運用されている。警察や市民から市内の犯罪や不審者情報等の提供を受け、インターネットの専用サイトを通じて配信するシステム。登録者のパソコンや携帯電話へ情報配信し、また一般の市民も専用ホームページで閲覧（PC・携帯）が可能。地域住民、警察と市が安全安心に関する情報を共有することができる。日常生活の安全や防犯パトロールの効率をより高め、コミュニティの活性化や防犯意識の高揚を図り、安全・安心のまちづくりの推進を目的とする。  
〈平成19年9月5日号・平成19年10月20日号〉

**あんぜん あんしん 安全安心ステーション**

旧草加警察署中央地区交番を活用して、2005（平成17）年8月10日に開設した地域の自主防犯活動・防災活動の拠点。市民への声かけを通じて防犯啓発や交通安全指導、道案内等の対応や警察への通報を行うほか、地域住民による防犯パトロール隊や消防団、自主防災組織の活動拠点として、詰め所や会議室として活用されている。

パトロールステーションが犯罪の

